

小・中学生がリアルなメイク体験を通じて自己表現の楽しさを学ぶ

第3回原リンピック「伊勢半 KISSMEメイク部」実施

美容専門学校生や教員も交え世代性別を超えたシームレスな体験を創出

総合化粧品メーカー 株式会社伊勢半（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：澤田晴子）は、2026年7月11日（土）、渋谷区立原宿外苑中学校で開催された地域連携型体験イベント「第3回原リンピック」にて、「伊勢半 KISSMEメイク部」を実施しました。原宿ベルエポック美容専門学校の学生協力のもと、小・中学生が実際にメイクを体験しながら、自分らしい表現やコミュニケーションの可能性について学ぶ機会を創出しました。



伊勢半は、1825年の創業以来200年にわたり「美しくありたい」と願うすべての人々の気持ちに寄り添い続けてきました。私たちのパーパスである

「The 1st Cosmetics. 伊勢半 いちばんほしいを、いちばんに」

— 新しい美しさを、誰よりも先に手にする喜びを提供すること。

世界を一瞬でひっくり返すような、驚きとワクワクを真っ先に生み出すこと。

「次は何で喜ばせ、驚かせようか。」

伊勢半グループは、すべての人の“いちばん”になる感動のある化粧品をお届けし続けます。 — この想いのもと、3回目となる原リンピックへの参加を決め、本イベントを企画いたしました。

■開催背景

近年、メイクは単なる美容行為にとどまらず、自分らしさを表現するコミュニケーションツールとして世代や性別を超えて広がっています。一方で、SNSや動画を通じてメイクに触れる機会は増えているものの、正しい知識や技術を学ぶ機会は決して多くありません。

伊勢半では、2022年より「KISSMEメイク部」と題した教育プログラムを全国の学校で展開しており、メイクを通じた自己理解や自己表現の支援を行っています。

今回の原リンピック参加もその活動の一環として実施されました。

■開催概要

イベント名：第3回原リンピック「伊勢半KISSMEメイク部」

開催日：2026年7月11日（土）

場所：渋谷区立原宿外苑中学校

対象：渋谷区立原宿外苑中学生、近隣の小学生及び保護者

メイク協力：原宿ベルエポック美容専門学校

内容：メイクに関するレクチャー、メイクの実践



<当日の様子>

学生とメイクを取り巻く環境やメイクの役割を伝える

授業冒頭では、学生とメイクを取り巻く環境や、KISSMEメイク部をはじめた経緯について解説。

「見た目を整える」だけではなく、楽しみながら自分らしさを表現する手段としてのメイクについて紹介し、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。

専門学校生とともにリアルなメイク体験

原宿ベルエポック美容専門学校の学生がサポート役となり、参加者は実際のメイク用品を使ってメイクに挑戦しました。自分自身にメイクを施すだけでなく、友人同士でメイクをし合う姿も見られ、会場は終始和やかな雰囲気に包まれました。

生徒が先生にメイクを施す特別な体験も

当日は教員も参加。生徒が先生にメイクを施す場面も見られ、普段の学校生活とは異なるコミュニケーションが生まれました。参加した26歳の男性教員は、自身の変化を鏡で確認しながら、「自分の良さを引き出してもらっている感覚がある、普段関わっている生徒がメイクを通じてわたしに向き合ってくれていることがとても嬉しい」とコメント。メイクによる新たな自己発見の機会とするとともに生徒とのこれまでにないコミュニケーションのカタチに喜びを感じていました。

初めてメイクを体験した男子生徒の変化

専門学校生からメイクを施された中学3年生の男子生徒は、「実際にメイクをしたのは今日が初めてでしたが、自分の顔の雰囲気が明るくなったと思います」とコメント。メイク後の自分の姿を見て「全然違う！」と驚きながらも満足そうな表情を浮かべていました。

「人にメイクをする楽しさ」を発見した女子生徒

専門学校生とともに参加者のメイクをサポートした中学3年生の女子生徒は、「他人に、それも男の人にメイクを施すのは今回が初めて」と話しながら「アイラインの引き方など綺麗に仕上げるコツを教えてもらえた」と振り返りました。

<担当者コメント>

原リンピックへの参加も3年目となり、授業を通じて子どもたちとの交流が深まりわたしたちの取り組みに対しての理解と、時代にマッチしたメイクに対する好意的な変化を実感している。これからも授業やイベントを通じて、メイクの楽しさや新しい自分に出会う喜びを伝えていきたい。

